

2024年4月22日

「COVID-19 に対する新規診断・治療法開発を効率的に実施するための 研究基盤構築」研究に参加された患者様へ

表題の研究課題「COVID-19 に対する新規診断・治療法開発を効率的に実施するための研究基盤構築」でご提供頂きました情報を、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所において下記の目的のため使用させていただきます。ご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その情報の利用を停止します。

研究課題名

COVID 19 の臨床情報及びオミックスデータによるディープ・フェノタイピング解析に関する共同研究

研究責任者

夏目やよい：医薬基盤・健康・栄養研究所 AI健康・医薬研究センター
バイオインフォマティクスプロジェクト

共同研究機関の研究責任者

竹下 享典：埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部
上田 修功：日本電信電話株式会社 物性科学基礎研究所

研究の目的・方法

本研究は、免疫調整薬による治療反応性が乏しい COVID-19 患者における宿主生体反応を解明し、それをもとにした効果的な COVID-19 に対する免疫調整療法の確立を目指します。

冷凍保存されている残余血液検体を用いて、各種の免疫調整薬の投与ごとに患者群を設定し、さらにそのなかの重症化群と非重症化群のあいだでサイトカイン、ケモカイン、凝固因子など重症化及び免疫異常に関与していると推察される項目について、網羅的に解析を行います。

利用する情報：血液検体の解析データ及び臨床情報

情報の収集期間及び研究期間

2021年1月1日～2022年3月31日の期間に「COVID-19 に対する新規診断・治療法開発を効率的に実施するための研究基盤構築」への研究参加に同意頂いた方から得られた情報を研究対象とします。

本研究の研究期間は承認日から2025年3月31日までです。

個人情報の取り扱い

医薬基盤・健康・栄養研究所、共同研究機関及び委託機関における個人情報取扱い規則を遵守します。

個人情報を送付する際には、データを電子政府推奨暗号リストや ISO/IEC18033 等に掲載されている暗号技術を用いて暗号化し、複合鍵を適切に管理します。

その漏洩により研究参加者が不利益を被る可能性は極めて少なくなるように、本研究で個人が容易に特定できる情報（氏名、生年月日、カルテ ID 等）は使用せず、検体試料のラベル等にも含まれないようにします。

お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 AI 健康・医薬研究センター
バイオインフォマティクスプロジェクト プロジェクトリーダー
夏目やよい
〒567-0085 茨木市彩都あさぎ 7-6-8
電話 072-641-9014